

資料 2

令和 5 年 2 月 1 6 日開催

市長定例記者会見資料

令和 5 年度に取り組む主な事業について

－ 政策分野 －

1. 快適さを支える生活基盤の向上

2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

4. 子育てと子どもの成長を支える環境の充実

5. 市民力・地域力の活性化

6. 行政経営

New!は、令和4年度にない新しい取組をする事業を表します。
Up!は、令和5年度から一部拡充した取組をする事業を表します。

1. 快適さを支える生活基盤の向上

関連するSDGsのゴール



～快適に過ごせるまちへ～

- 防災情報伝達システムの整備をはじめ、都市防災リスク調査の実施、避難所環境の充実など、都市レジリエンス（しなやかさ）を高める取り組みを推進
- 鈴鹿関跡の史跡指定地の公有地化やまちの記録の編さんなど、歴史文化を生かしたまちづくりを推進

都市のしなやかさを高める取り組み

New! 都市マスタープラン等策定事業

(680万円)

次期都市マスタープランや立地適正化計画の策定を見据え、都市が抱える防災上のリスクの調査と、対策方針の検討を行います。

New! 災害時応急活動充実・強化事業

(2,477万円)

公益財団法人B&G財団と連携し、防災資機材の充実等を図ることで、災害時における応急対策活動の充実・強化を進めます。

防災情報伝達システム整備事業 (800万円)

市民の安全を確保するための情報を迅速に発信し、確実に伝達するシステムの実施設計を行います。

New! 東野公園体育館改修事業 (880万円)

指定避難所である東野公園体育館に空調設備と自家発電設備を整備し、災害時における避難所機能の強化を図ります。



景観づくり推進事業 (220万円)

平成20年度に策定した「亀山市景観計画」を改訂し、本市の特色である歴史的資産や自然景観と調和する景観づくりを進めます。

Up! 公園施設長寿命化事業 (7,300万円)

亀山公園の大型複合遊具を更新するとともに、インクルーシブ要素を取り入れた遊具を整備し、利用者の利便性と安全性の向上を図ります。

New! 道路新設改良事業 (川合9号線)

(2,200万円)

宅地開発等により交通量が増加傾向にある市道川合9号線の全線拡幅に着手します。



鈴鹿関跡学術調査事業 (3,170万円)

令和3年3月に国の史跡指定を受けた鈴鹿関跡の保存と活用を図るため、史跡指定地の公有地化を進めます。



New! まちの記録編さん事業 (638万円)

平成から令和にかけての亀山市の移り変わりを記録する「まちの記録」を編さんします。

2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

関連するSDGsのゴール



～心と体の豊かさを感じられるまちへ～

- 健康都市大学の開校やアプリを活用した健康活動の促進、带状疱疹ワクチンの接種助成の追加など、市民がより健やかで心豊かに生活できる地域社会の構築に向け、健康都市政策を強力に推進
- 「かめやま文化年プロジェクト」を継承した新たなかめやま文化年の展開に向け、検討をスタート

健康都市政策の推進

健康都市大学創設・運営事業

(600万円)

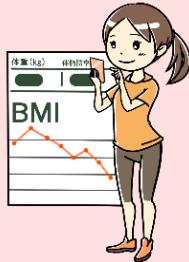
市民の主体的な健康づくり活動の大切さや健康都市の考え方の浸透を図るため、健康に関する講座や実践活動を行う「(仮称)健康都市大学」を開校します。



New! アプリでウェルネス推進事業

(950万円)

歩数計やポイント管理機能などを有するスマホアプリを導入し、市民の主体的な健康活動を促進します。



Up! 予防接種費用助成事業

(1,430万円)

インフルエンザ、水痘、おたふくかぜ等に加え、新たに带状疱疹ワクチンを助成対象に追加し、市民の更なる健康保持・増進を図ります。



New! 滋賀医科大学スポーツ・運動器

科学共同研究講座支援事業

(2,520万円)

滋賀医科大学との共同研究を通じて、医療センターの整形外科常勤医師を配置することで、地域医療体制を確保し、救急や手術・入院に対応できる安心の医療を提供します。



New! 高齢者の保健事業と介護予防の

一体的実施事業 (557万円)

高齢者の疾病予防・重症化予防、生活機能の改善を図るため、健診・医療・介護に関するデータを活用・分析し、健康上のリスクが高い方への個別支援や、高齢者の集まる機会を活用して医療専門職による健康教育や健康相談を行います。

New! かめやま文化年事業

(350万円)

様々な分野の取り組みと文化芸術の連携により、まちの賑わいや魅力の創出につなげるための「かめやま文化年2024」の展開に向け、実行委員会を設置し準備を進めます。



3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

関連するSDGsのゴール



～活力のあるまちへ～

- 亀山ブランドの推進や、コロナ禍で中止が続く亀山大市の復活など、地域に根ざした産業を振興
- サルによる農作物被害の増加や人的被害の発生を受け、地域や関係機関と連携した対策チームの設置や、PDCAサイクルに基づく個体群管理など、従来のサル対策を充実・強化

地域の魅力発信・地域産業の活性化

亀山ブランド推進事業 (322万円)

本市のもつ様々な地域資源や優位性を発掘・磨き上げ、市内外に戦略的に情報発信し市のブランド力を向上させることで、生産者の生産意欲や販売意欲を高めるとともに、シビックプライドの醸成につなげます。



Up! 亀山大市の復活に向けた支援 (商工業振興事業・団体支援事業) (320万円)

本市の伝統である「亀山大市」の復活に向け、主催となる亀山市商業団体連合会への支援を行います。



広域交通網の強化

リニア中央新幹線整備促進事業 (184万円)

リニア中央新幹線の市内停車駅の実現に向け、官民一体となった誘致活動を展開します。



鈴鹿亀山道路の整備促進 (道路橋梁一般事業・一般管理費) (34万円)

鈴鹿亀山道路の早期の事業着手に向け、期成同盟会を中心に、事業説明会の開催や要望活動等に取り組めます。

Up! 産業振興奨励事業 (8,087万円)

亀山市産業振興条例に基づき、市内において事業所の新設・増設を行った事業者に対して奨励金を交付し、多様な産業集積を図ります。

緊急対策

Up! ニホンザル等獣害対策事業 (3,540万円)

サルによる農作物被害の増加や人的被害の発生を受け、サル対策チームを設置し、市街地における捕獲圧の強化や、生息環境調査の実施など、被害防止に向けた対策を重点的に取り組みます。



観光プロモーション推進事業 (1,198万円)

都道府県公式観光サイトのアクセスランキング全国2位である「観光三重」における特設ウェブサイトへの掲載や、メディアとのタイアップ、インフルエンサーによる情報発信など、積極的にプロモーション活動を展開します。



4. 子育てと子どもの成長を支える環境の充実

～豊かな子育てができるまちへ～

関連するSDGsのゴール



- 国において「異次元の少子化対策」の検討が進められる中、出産・子育て応援交付金を活用し、切れ目ない子育て支援の核となる子育て世代包括支援センターの機能を強化
- 老朽化が進む学校施設の長寿命化の推進や緊急修繕の実施など、長期・短期の両面で対策を実施

保育サービスの向上と保育士の負担軽減

保育所等ICT化推進事業 (521万円)

園に関する計画・記録、保護者との連絡、子どもの登降園管理等を行うことのできる保育総合支援システムを保育所等に導入し、保育サービスの充実と保育士の業務効率化を図ります。



New! 使用済み紙おむつの回収・処理 (保育所費・施設管理費) (250万円)

公立保育所等において使用済み紙おむつの回収・処理を行うことで、保育サービスの向上と保育士の負担軽減を図ります。

Up! 子育て世代包括支援事業 (1億1,870万円)

出産・子育て応援交付金を活用した「伴走型相談支援」「出産・子育て応援ギフト」に取り組むなど、子育て世代包括支援センターによる妊娠期から幼児期までの切れ目のない支援の充実を図ります。



学校施設の老朽化対策

New! 学校管理費・施設整備費(小学校) (3,000万円)

老朽化が進む亀山東小学校体育館の屋根を修繕し、児童が安全で快適に学校生活を送ることのできる環境づくりを進めます。

学校施設長寿命化計画策定事業 (499万円)

学校施設の適切な管理と計画的な修繕、改築等の推進に向け、学校施設長寿命化計画を策定します。



少人数教育推進事業 (2,624万円)

少人数教育推進教員を配置し、過密学級の解消を図ることで、小中学校におけるきめ細やかな指導に取り組みます。

Up! 適応指導教室事業(子どもの居場所事業) (310万円)

不登校児童生徒の学習機会の確保を図るため、令和3年度から開設した「子どもの居場所」について、受入れ体制の充実を図ります。

5. 市民力・地域力の活性化

～つながりと交流のあるまちへ～

関連するSDGsのゴール



■コロナ禍で影響を受ける人と人のつながりや交流の回復に向け、地域まちづくり活動を継続的に支援するとともに、納涼大会の復活等を支援

地域まちづくり協議会への支援

地域まちづくり協議会支援事業（2,754万円）

地域予算制度による財政的支援及び地域で活躍できる人材の発掘・育成支援等を行い、地域まちづくり協議会による自立した地域まちづくり活動を促進します。



～主な内容～

- 地域予算制度による財政的支援 【地域まちづくり交付金】 2,200万円
【地域活性化支援事業補助金】 300万円
- 地域で活躍できる人材の発掘・育成支援 【地域担い手研修】 123万円

Up! 地区コミュニティセンター充実事業（1億2,080万円）

城東地区まちづくり協議会の新たな活動拠点施設の確保に向け、城東地区コミュニティセンターを市民協働センター敷地内に整備するとともに、市民協働センターの改修工事を行います。また、旧城東地区コミュニティセンターを解体し、駐車場として整備します。

亀山市納涼大会の復活に向けた支援 （観光振興事業・団体支援事業）（885万円）

コロナ禍で開催が滞る「亀山市納涼大会」の復活に向け、関係者と調整を進めるとともに財政的支援を行います。



6. 行政経営



■デジタル技術が進展する中、マイナンバーカードの普及促進に引き続き取り組むとともに、行政DXを推進

マイナンバーカード交付事業（2,857万円）

マイナンバーカードの普及に向け、市内4郵便局と連携した地域での申請受付など、受付体制の拡充を図るとともに、普及促進に向けた取り組みを進めます。

行政情報システム事業（住民情報系） （1億1,255万円）

総合住民情報システム等の安定稼働を図るとともに、地方公共団体情報システム標準化に向け、現行システムとの比較分析を行います。



新庁舎整備事業（140万円）

行政サービスの提供や防災等行政の中心拠点となる新庁舎の整備に向けて、令和5年度は建設地を決定します。



行財政改革の推進

（一般管理費・行政改革推進費等）（49万円）

ザ・点検の復活等により、第3次行財政改革大綱の一層の推進を図ります。